

城下まちづくり 通信

第17号



ごあいさつ

元気な地域づくりを進めます

会長 増澤 吉雄



2025年(令和7年)がスタートし、2か月半余りが過ぎました。城下地域の皆様には、お元気にてお過ごしのことと存じます。

昨年は元旦の能登沖地震をはじめとして、暴風、大雨等による甚大な被害が全国各地で発生し、まさに災害が日常の年でした。年が改まり1月には、阪神・淡路大震災発生30年を迎えたこともあり、自然災害への対応をはじめ防犯・防災に対する住民の関心が高まってきていることが感じられます。

城下まちづくり未来会議においては、昨年10月20日に「第2回城下消防まつり」を城下地区の9自治会、消防団第6分団のほか、関係機関・団体と共に実施しました。同まつりの目的に位置づけている「城下地区住民の防火・防災意識の啓発、消防団第6分団員のスキルアップ及び新入団員の確保、消防団活動のアピール」の達成に向け、前進できたものと総括しています。令和7年度以降も継続して実施することが必要であると考えます。

今年は巳年、災害などの不安や、先が見通せない閉塞感漂う状況から脱皮し、明るい希望が持て、幸せが実感できる年にしたいものです。

城下まちづくり未来会議も発足8年目となります。これまで以上に城下地区9自治会と連携、協働し元気な地域づくりに向け努めてまいりたいと思います。皆様の更なるご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

本号では、令和6年度後半の取り組みについてご報告いたします。

第2回 城下消防まつり

10月20日(日)南小学校校庭を会場に、第2回城下消防まつりが行われました。城下地区住民の防火・防災意識の啓発を図るとともに、消防団第6分団員のスキルアップ、消防団活動のアピール、新入団員の確保を目的として実施しました。来場者数665人、役員関係者160人、総数825人と大勢の皆様にご参加いただきました。

開催にあたりましては、上田市消防団、中央消防署、南部消防署、第6分団、第7分団の他、多くの団体、関係者のご支援、ご協力をいただきました。また、今回は上田市の「活力あるまちづくり支援金事業」に採択され、財政支援を賜りました。

誠にありがとうございました。感謝申し上げます。

※2ページ目では、その時の様子を写真でご紹介します。

第2回 城下消防まつり



三好町保育園 やまびこ太鼓演奏



はしご車試乗体験



AED取り扱い



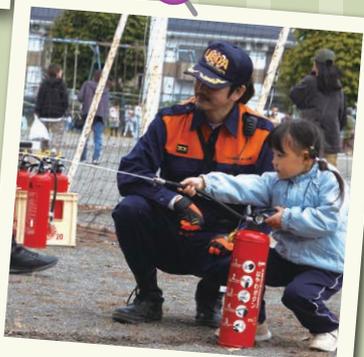
放水体験



煙体験



フードコーナー (第6分団OB会)



消火器取り扱い



六文戦士ウエイダー



フードドライブ (城下地区社会福祉協議会)



ポンプ車展示・可搬積載車試乗

行政への要望活動

上田市及び長野県上田建設事務所に、城下地区の重点課題解決に向け、要望活動を行いました。

◆城下地区住民の生活道路における交通安全対策についての要望

- ①日 時 令和6年10月7日(月)
- ②要望先 上田市(土屋市長、佐藤都市建設部長、皆瀬土木課長 他)
- ③出席者 城下地区各自治会長、まちづくり未来会議役員、城下地区安全協会役員、宮下市議 他
- ④内 容



城下地区は約13,000人の住民が生活

する住宅地域であり、近年、車輛通行量が急増し、地区内生活道路の安全確保が喫緊の課題となっている。以前は、地域の安全協会役員が道路上に「車輛停止の表示・道路白線」を施し、事故防止等、安全対策に務めてきたが、現在は道路管理者の権限、法令上の制約などから実施していない状況にある。警察庁においては、令和8年9月の実施を目指し、道路交通法施行令の改正案をまとめ、生活道路を対象に事故防止を図るとしている。

地域の生活道路における車輛に対し、注意喚起の役割を果たす「道路標識・道路白線」の設置は交通事故の減少、防止にあたり必要不可欠である。こうした動向・趣旨を踏まえ、生活道路における交通安全対策に万全な対策を講じられるよう要望する。

⑤回 答

地域の事情や要望の趣旨については理解できる。今後、県公安委員会と協議し適切な対応に向け努力する。

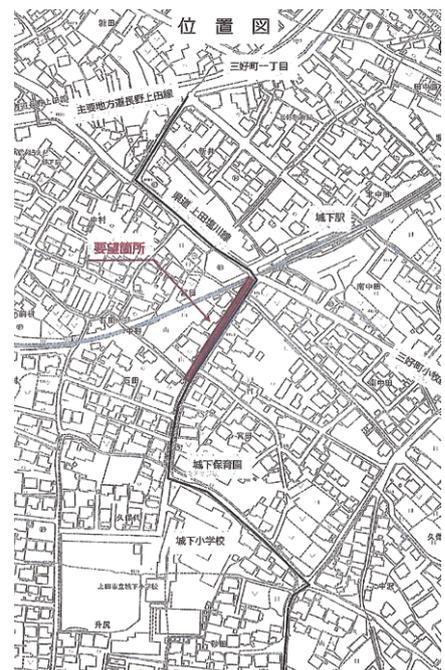
◆県道上田塩川線 城下駅踏切から城下小学校までの歩道設置についての要望

- ①日 時 令和6年12月17日(火)
- ②要望先 長野県上田建設事務所(中島所長、担当職員)
- ③出席者 荒井中村自治会長、増澤城下まちづくり未来会議会長、宮下市議 他
- ④内 容

本要望については、平成30年度から未設置の区間(約130m)への歩道設置を継続的に要望してきている。令和6年9月に、区間内に所在する住居の解体撤去工事が行われたなどの動向を踏まえ、早期の実現に向け対応いただきたい旨の要望をした。

⑤回 答

本年1月、地元の皆様により2名の地権者のご了解を得たことを受け、踏切から当該箇所までについては、令和7年度から実施に向けて手続きを進めてまいります。



◆諏訪形太陽光発電設置事業についての要望

- ①日 時 令和6年12月25日(水)
②要望先 上田市(土屋市長、佐藤都市建設部長、細谷都市計画課長 他)
③出席者 降旗城下地区自治会連合会長、増澤城下まちづくり未来会議会長、宮下市議 他
④内 容

太陽光発電施設については、令和4年10月に城下地域の全自治会長と事業者との間で締結された協定を受け着工されたが、事業者側は上田市の条例に基づく適正な手続きの遅延が生じている中での売電を始めている状況にある。

令和5年12月には、市に対して「事業者側の無責任な対応などについて国に対して報告するよう」要望し、令和6年11月に国への報告がされたとの連絡を受けたが、変更計画についての地元説明会(令和6年3月)での地元との確認事項についても、未だ解決に至っていない状況にある。こうした経過を踏まえ、上田市長に「事業者側に地元確認事項の早期履行を求める対応」、「現行の市条例は、行政指導の効力が限定的であることから実効性が担保されるよう改正すること」を要望した。

⑤回 答

事業者に対し、「変更手続きに必要な関係書類の提出」と「地元確認事項への対応」について指導を行っている。国(資源エネルギー庁)及び県に現状報告を行った。今後は、国から事業者に対しての直接的な指導に向けて、国への情報提供と協議を行い、連携して対応していく。

条例改正に向けパブリックコメントの実施などが必要になることから、関係機関との協議及び調整を行い、具体的な検討、手続きを進める。



城下あいさつ・声かけ運動

令和6年11月1日(金)に城下地域の交差点ほか自治会指定の場所、保育園・学校関係、福祉施設等で行われました。写真は、三好町保育園の様子です。

スローガン「あいさつで明るい未来のまちづくり」に向け、笑顔あふれ、大きな声が城下地域に広がりました。

